

## 〈 セミナーのご案内 〉

● 配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回					
覧					

高等教育活性化シリーズ 359 (通算 690 回)

2017 年 12 月 15 日 (金)

教員教育責任と学生履修責任を結ぶ——

# 学修成果可視化の取組みと実際

高等教育活性化シリーズ 360 (通算 691 回)

2017 年 12 月 20 日 (水)

4 学期制による柔軟かつ集中学修——

# 学事暦の再構築と教学運営の実際 II

教員教育責任と学生履修責任を結ぶ——

# 学修成果可視化の取組みと実際

～直接評価と間接評価／成績評価・判定とアセスメント／教学改善～

- ※ 学習成果可視化のコンテクスト／学生・教員・大学経営・社会にとって／混乱と収束／未来へ
- ※ [産業能率大] 学習成果の可視化の取組みと実際／多面的把握／学習行動改善／プロセスと結果
- ※ [金沢大] 「学生中心」の学修成果／多元的な評価指標と各種調査／ポートフォリオ／カルテ等
- ※ [お茶の水女子大] 成績評価・成就のあと押し／行動調査／授業アンケート／ポートフォリオ

### ● 講 師 陣 ●

菊池 重雄 氏	／	(学) 玉川学園 理事 (高等教育担当)	玉川大学 経営学部 教授
杉田 一真 氏	／	産業能率大学 学長補佐	教育支援センター長 准教授
上畠 洋佑 氏	／	(国) 金沢大学 国際基幹教育院	高等教育開発支援系 特任助教
半田 智久 氏	／	(国) お茶の水女子大学	教育開発センター 教授

2017 年 12 月 15 日 (金) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)

4 学期制による柔軟かつ集中学修——

# 学事暦の再構築と教学運営の実際 II

～授業時間・時間割の設計と実務／学生・教員双方のメリット～

- ※ [明治大] 全学での統一／100 分 14 週／アクティブ・ターム活用／50 分モジュールの活用
- ※ 4 学期制のメリット・デメリット／筑波大での事例／単位制度の実質化／質保証システム構築
- ※ [広島大] クォーター制導入と実際／アクティブラーニングの推進／検証と今後の取り組み
- ※ [東北公益文科大] クォーター制とセメスター制の併用／長期学外学修プログラム／効果と今後

### ● 講 師 陣 ●

千田 亮吉 氏	／	明治大学 副学長 (教務担当)	教務部長 教授
清水 一彦 氏	／	(公) 山梨県立大学 理事長・学長	
小澤孝一郎 氏	／	(国) 広島大学 副理事 (教育企画担当)	教授
神田 直弥 氏	／	東北公益文科大学 公益学部長	

2017 年 12 月 20 日 (水) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



地域科学研究会 高等教育情報センター

[ 参加要領 ]

日時： ■高等教育活性化シリーズ 359 学修成果可視化の取組みと実際

2017年12月15日(金) 10:00~16:50

会場：日本教育会館 会議室(東京・神保町) 千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833

(東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」A1出口より徒歩3分 <http://www.jec.or.jp/koutuu/>)

日時： ■高等教育活性化シリーズ 360 学事暦の再構築と教学運営の実際Ⅱ

2017年12月20日(水) 10:00~16:40

会場：剛堂会館(明治薬科大学) 会議室(東京・麹町) 千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362

(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

参加費	ご一名(資料代を含む)	メディア参加(資料及び音声CD)
高等教育活性化シリーズ 359	40,000円(税込)	41,000円(税込)
学修成果可視化の取組みと実際	高等教育同人 20,000円(税込)	高等教育同人 21,000円(税込)
高等教育活性化シリーズ 360	41,000円(税込)	42,000円(税込)
学事暦の再構築と教学運営の実際Ⅱ	高等教育同人 20,000円(税込)	高等教育同人 21,000円(税込)

※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声CDを送付します。

※なお、当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 \*郵便振替：00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

☆高等教育計画経営研究所同人はKKJのHPでご確認願います。

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。メールアドレスをご登録くださいませ。

お申込み・お問合せ



地域科学研究会  
高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

年 月 日

高等教育活性化シリーズ 359  
学修成果可視化の取組みと実際

高等教育活性化シリーズ 360  
学事暦の再構築と教学運営の実際Ⅱ

(□に✓印を入れてください)

一般  同人

当日参加  メディア参加

一般  同人

当日参加  メディア参加

支払方法  当日払い  銀行振込  郵便振替

必要書類  請求書  見積書  領収書

勤務先 \_\_\_\_\_ (書類宛名 \_\_\_\_\_)

所在地 \_\_\_\_\_

連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義内容
10:00 ) 11:30	<p>□ 学習成果の可視化がめざすもの                      ～ 可視化をめぐる混乱とその収束 ～</p> <p style="text-align: right;">玉川大学 菊池 重雄</p> <p>1. 学習成果可視化のコンテクスト                      (1) 「学習成果の定義」と「可視化の定義」                      (2) 学習成果は可視化できるものなのか                      (3) 希求される学習成果の可視化 — 誰がどのような可視化を望むのか</p> <p>2. 学習成果可視化の対象と実際                      (1) 学習成果の可視化と学生 (2) 学習成果の可視化と教員                      (3) 学習成果の可視化と大学経営 (4) 学習成果の可視化と社会</p> <p>3. 学習成果可視化の望まれるかたち                      (1) 学生ポートフォリオ (学修ポートフォリオ) の役割                      (2) 学習成果の可視化と IR                      (3) 学習成果の可視化—そのメリットとデメリット                      (4) 学習成果の可視化と学生の未来</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:40 ) 13:00	<p>□ [産業能率大]「可視化」の3つの取組み                      ～ 学習行動改善を目的としたプロセスと結果の可視化 ～</p> <p style="text-align: right;">産業能率大学 杉田 一真</p> <p>1. 取組みの経緯                      (1) 大学教育再生加速プログラム (2) 取組みの目的 (3) 「可視化」の3つの取組み</p> <p>2. 学修成果の可視化                      (1) 知識・技能・態度 (2) 主観評価 (3) 取組みの成果と課題</p> <p>3. 学習プロセスの可視化                      (1) 授業外学習の可視化 (2) アドバイザー制度の実質化 (3) 取組みの成果と課題</p> <p>4. 教授行動の可視化                      (1) 授業外学習の再設計 (2) 授業内スタッツデータ (3) FD 授業研究                      (4) 取組みの成果と課題</p> <p>5. 取組みを成果に結びつけるポイント</p> <p>6. 今後の課題</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:00 ) 15:20	<p>□ [金沢大]「学修成果の可視化」に向けた取組み                      ～ 「学生中心」の「学修成果の可視化」を目指して～</p> <p style="text-align: right;">金沢大学 上島 洋佑</p> <p>1. 「学修成果の可視化」に向けた取組み                      (1) 能動的な学習環境整備のための学生の現状把握に係るフォーカスグループインタビュー (FGI) 調査                      (2) 2015年度全学士課程卒業生アンケート調査                      (3) 学修ポートフォリオ/カルテと2つのALルーブリック                      (4) 学習成果の自己評価アンケート結果からの考察                      (5) 入試成績と授業成績との関係性の考察</p> <p>2. 「学生中心」の学習環境整備に向けた取組み                      (1) 学生支援部署の教職員インタビュー調査とバックアップポリシー                      (2) 2016年度学習環境調査 (エスノグラフィーを通して)                      (3) 金沢大学における授業英語化に関する学生調査</p> <p>3. まとめ—金沢大学における「学生中心」の「学修成果の可視化」とは</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:30 ) 16:50	<p>□ [お茶の水女子大] 学びの成果可視化と成績評価・成就のあと押し                      ～学修行動調査/授業アンケート/ポートフォリオによる学びの検証および促進～</p> <p style="text-align: right;">お茶の水女子大学 半田 智久</p> <p>1. 学修行動調査 ALCS のポリシーとビジョン                      (1) 自律協働圏: 教学比較 IR コモンズを育てる                      (2) 学修と学習に費やしている時間の実際を掴む                      (3) GPA とはそうだったのか「やり抜く力」</p> <p>2. 授業アンケート nigala がもたらす効用                      (1) リニア・ルーブリック評価 定性的定量化と知的直観                      (2) nigala ダッシュボードによる透明化と可視化                      (3) 使える授業アンケートがもたらす改善の焦点化</p> <p>3. ラーニング&amp;スタディ・ポートフォリオ super alagin の射程                      (1) 教育の質保証と高大院シームレスな形成的成果: 主体的学びの増進                      (2) one to one tailored education 教育資源の選択的集中投下                      (3) 就活のひとつの終わり: 人材証明とダイレクト・リクルーティング</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>

時間	講義項目
10:00 } 11:20	<p>□ [明治大] 全キャンパスの学年暦統一と4ターム・モジュールの導入                      ～ 1コマ100分・14週/50分モジュール/補助モジュール ～                      明治大学 千田 亮吉</p> <p>1. 100分14週授業の概要                      (1) 導入の目的 (2) 実施に至るまでの経緯                      (3) 実施後の現状と今後の課題</p> <p>2. アクティブ・タームの活用                      (1) 国際的流動性の阻害要因 (2) アクティブ・タームの位置づけ                      (3) 今後の課題</p> <p>3. 50分モジュールの活用                      (1) 多様な授業時間設定の必要性 (2) 50分モジュールの活用例                      (3) 今後の課題</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:30 } 12:50	<p>□ 学事暦の再構築と教学運営の進化                      ～ 単位制度の運用と教育の質保証 ～                      山梨県立大学 清水 一彦</p> <p>1. 学事暦の再構築に向けて                      (1) 大学制度の日米比較 (2) 4学期制のメリット・デメリット                      (3) 筑波大学での改革事例 (4) 単位制度の実質化</p> <p>2. 教育の質保証システムの構築に向けて一学修成果の可視化の実践事例ー                      (1) 学士力の策定はどのように行ったか                      (2) カリキュラムマップをどのように作成したか                      (3) 授業評価制度をどのように見直したか (4) 学修成果の可視化の実際                      (5) 実践の意義と課題</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:50 } 15:10	<p>□ [広島大] クォーター制の導入と今後の課題                      ～ 短期集中型学習とアクティブラーニングの推進 ～                      広島大学 小澤孝一郎</p> <p>1. クォーター制導入の目的と概要                      (1) クォーター制導入の目的 (2) 広島大学におけるクォーター制</p> <p>2. アクティブラーニングの推進                      (1) 広島大学における参加型教育の歴史 (2) Problem-based learning (PBL) の推進                      (3) 反転授業の推進 (4) その他の取り組み</p> <p>3. 本格導入の検証と改善                      (1) アンケート調査と解析 (2) 部局からの意見聴取                      (3) 今後の課題と取り組み</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:20 } 16:40	<p>□ [東北公益文科大] クォーター制度の導入と推進                      ～ 対応科目は学部で半分超/ギャップイヤープログラム ～                      東北公益文科大学 神田 直弥</p> <p>1. クォーター制の導入                      (1) クォーター制導入の背景 (2) 吉村プラン                      (3) クォーター制と Semester 制の併用 (4) 時間割編成方針</p> <p>2. 長期学外学修プログラムの実施                      (1) 中期留学の導入                      (2) インターンシップ・フィールドワークの長期化                      (3) ギャップイヤー入試の導入                      (4) ギャップイヤープログラムの実施</p> <p>3. クォーター制導入の効果と今後の展望                      (1) クォーター制導入の効果と課題 (2) 90分授業から105分授業へ</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>